

(理念)

暖もりのある笑顔と
 思いやりの心があふれる
 和やかなわが家

(基本理念)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

(令和4年度事業計画)

	ビジョン	令和4年度事業計画
1	利用者へより質の高いサービスの提供	① マニュアル等の定期的見直し ② 第三者評価の継続実施 ③ 苦情解決・相談体制の継続 ④ 個人情報保護体制の継続 ⑤ 全職員の法人理念や基本方針の理解および周知徹底 ⑥ 適正な職員配置による利用者への質の高いサービス提供
2	利用者の満足を把握する	① 利用者満足度調査の定期実施 ② 利用者のニーズを把握 ③ 苦情解決委員会等での利用者満足度向上に向けた取り組み ④ 法人定期広報誌による利用者満足度について掲載
3	職員の資質向上	① 人事考課制度による職員育成と人材活用 ② OJT・OFF - JT・SDS への実践 ③ 職場改善意識の向上 ④ 職員提案(自己申告)等による改善 ⑤ 職員の虐待防止、法令遵守に対する研修及び周知徹底 ⑥ 各種団体が主催する研修会へ積極的に参加 ⑦ コーチング研修の取り組み(中堅職員)
4	職場が働きがいを持てる職場づくり	① キャリアパス制度の明確化及び活用 ② 人材確保の取り組みと人材育成研修の充実 ④ 福利厚生充実(互助会制度) ⑤ 職員の自己申告等による職員ニーズの把握と職場環境づくりに反映 ⑥ 資格取得のための研修会・勉強会の実施 ⑦ 働きやすい職場環境の整備 ⑧ 人事考課制度による職員の成果・能力の適正な評価 ⑨ 時間外労働削減に向けての取り組み ⑩ 年次有給制度の取得を促進(年間5日以上を義務づけ・誕生日休暇 令和4年度 法人年間休日 120日) ⑪ 多様な働き方の導入に向けての検討

5	地域の意見を反映し、地域が求める福祉サービスを実現	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な地域福祉(在宅・施設)サービスの提供 ② ボランティアの積極的活用 ③ 地域行事・まちづくりへの積極的参加 ④ 災害対応への備蓄等準備 ⑤ 地域のニーズ把握と対応する福祉ニーズの検討 ⑥ 手話教室の開催(毎月1回) ⑦ 納涼祭の開催(7月下旬 ケアハウス新館) ⑧ 災害時に福祉避難場所としての要支援者の受け入れ ⑨ 地区消防団と連携を図り、利用者等の避難訓練実施 ⑩ 地区駐在所と連携を図り、地区高齢者との合同交通安全教室等開催
6	法人事業継続性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 食事提供等を業務委託(シダックス)から法人直営として提供(平成31年4月1日実施) 令和4年度も引き続き法人直営で食事提供を行う ② 法人組織の体制整備 ③ 財政基盤の充実・強化 修繕積立等に取り組む ④ 収支計画の策定 ⑤ 災害及び感染症等に対する事業継続体制の策定 ⑥ 管理者会議の充実と会議記録の全職員への周知徹底 ⑦ 地域に開かれた社会福祉法人・福祉施設の運営 ⑧ 地区自治会、地区社会福祉協議会との連携・協力 ⑨ 本部事務局と各事業所との意思疎通及び連携の強化 ⑩ 新型コロナウイルス感染症に係わるワクチン接種を積極的に取り組む ⑪ 令和3年4月1日施行の高年齢者雇用安定により、終業条件等や雇用基準について、労使で検討及び協議を行う ⑫ 令和4年度からの中長期5カ年計画の策定と職員への周知徹底を図る ⑬ 非常食を3日間確保 ⑭ 事業継続計画に向けた計画等の策定、研修の実施訓練の実施 (BCP)

○役員研修計画（令和4年度）

社会福祉法人だんのさと

日程	研修内容	場所	費用	主催
6月	社会福祉施設経営法人連絡会		無料	県社協
〃	鳥取県社会福祉施設経営者協議会	〃	無料	経営協
8月	老人福祉施設研修大会		参加費要	老施協
〃	社会福祉法人経営者セミナー			県社協
〃	社会福祉法人会計実務研修			県社協
9月	経営協全国大会		参加費要	経営協
10月	福祉サービス苦情解決事業研修会		無料	県社協
〃	社会福祉法人労務管理者研修			県社協
1月	社会福祉法人組織管理実務研修			県社協
2月	人権啓発推進員研修会		無料	商工労働部
〃	社会福祉法人経営者研修会			経営協
3月	県社協総会		無料	県社協
3月	老施協総会		無料	老施協

※コーチ型マネジメント研修（管理者・中堅職員対象）

令和4年度 事業計画概要

1: ケアハウス暖の里(本館)

計画項目	具体的な内容
施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
施設の基本方針	1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生によるふくしの実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
施設の目標	(1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 (2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。
利用者へのサービス提供	①入居者一人一人の意向を尊重し、必要な介護サービスを実施する事により、安心した暮らしが送れる環境となる様、努める。 ②入居者との信頼関係を築く為、施設が提供するサービスや設備面に関し、意見・要望を伺う為、「和み会」を毎月実施。入居者と協議する事で、双方の理解を深めると共に、全体周知を図る。改善内容について、可能な範囲で、早期な対応を実施。 ③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・将棋等)・レクリエーション等を実施する。 ④体操を実施する事により、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 ⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して相談に応じるとともに、適切な助言や解決となる対応を行い、心身の安定に努める。 ⑥施設サービスに対して年度末に満足度調査を実施し、サービス向上を図る。
給食(食育)	①暖の里本館にて100食調理を行い、新館へ50食を配送する。 ②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食及び、季節感を大切に旬な料理の提供に努める。 ③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努め、安全に食事を食べて頂く環境作りに配慮する。 ④嗜好調査・満足度調査を年度末に実施。翌年の献立に反映させる。 ⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。
衛生管理・環境	①嘱託の寺岡医師と連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。歯科については、往診可能な歯科医院に依頼を行う。 ②健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院等迅速・適切な対応を行う。 ③各感染症(インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス)に対して感染症防止体制の充実を図る。
安全対策・事故防止	①救急救命講習会・AED講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 ②地震や火災等の災害を想定した避難訓練に組織全体で取り組む。年3回実施する。 ③非常食の備蓄により、災害等の食事提供体制を確保する。
家族・後見人への支援	①法人広報誌「だんのと」と(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 ②入居者の方の近況報告を年1回行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 ③体調不良や転倒等も含め、特変の際は家族へ早急な連絡を行い、必要時は通院調整を行い情報共有を行う。 ④施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。

地域との連携 地域貢献)	<ul style="list-style-type: none"> ①法人広報誌「だんのだと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 ②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 ③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。。 ④学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 ⑤地域への貢献として生活困窮者へ、必要な介護情報の提供及び、生活支援の推進
経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ①入居率100%確保を目指している。 ②病院地域連携室、包括支援センター等へ定期訪問と、情報交換を図りながら入居者確保に努める。
施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 ②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。 ③故障の早期発見、修繕を行い入居者に安心していただく。
職員管理	<p>職員研修の推進(施設・厨房職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 ②職員の資格取得にチャレンジしていく。 ③職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。 ④施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。
資金計画	別紙予算書

令和4年度 行事計画表

ケアハウス暖の里本館			ケアハウス暖の里新館		
月	事業内容	月	事業内容	月	事業内容
4	花見	10	ミニ運動会 結核検診	10	
5	暖の里食堂(セレクト食)	11	紅葉狩りドライブ 地区防災訓練参加	11	
6	ちまき作り あじさいドライブ	12	クリスマス会 防災訓練 餅つき	12	
7	七夕まつり 納涼祭	1	元旦祝賀会 とんど	1	
8	暖の里食堂(セレクト食)	2	節分	2	
9	敬老会 防災訓練	3	ひな祭り 防災訓練	3	
※職員会・誕生会・和み会 毎月実施 健康体操・口腔体操 暖喫茶(水曜日)			※職員会・希望外出・誕生会 (毎月) 健康体操・口腔体操 傾聴ボランティア隔週水曜日		
共通			寺岡医師隔週木曜日 移動図書館隔週木曜日 ～ワクワクこなん・学生実習等受入～ 移動販売(毎週水曜日) 移動理美容車(ハッピー号) グランドゴルフ5月～10月 園芸教室5月～10月 ～地域の運動会・納涼祭等諸行事へ参加～		

令和4年度 事業計画概要

施設名： ケアハウス暖の里(新館)

計画項目	具体的な内容
施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
施設の基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生による福祉の実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
施設の目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 (2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。
利用者へのサービス提供	<ol style="list-style-type: none"> ①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努める。 ②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「談話会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努める。 ③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・園芸・読書等)と四季に応じたレクリエーション等を実施する。 ④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 ⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見の相談に応じると共に、適切な助言等を行い心身の安定に努める。 ⑥施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。
給食(食育)	<ol style="list-style-type: none"> ①暖の里本館直営(100食調理)になり、新館へ50食が配送されている。 ②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。 ③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気作りに配慮する。 ④嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。 ⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。
衛生管理・環境	<ol style="list-style-type: none"> ①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活で頂けるよう努める。歯科については、いながき歯科医院に協力依頼している。 ②健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。 ③インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。 ④新型コロナウイルス感染症予防対策に努める。
安全対策・事故防止	<ol style="list-style-type: none"> ①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 ②地震や火災などの災害を想定した取り組み、組織全体で災害対応に努め年3回避難訓練を実施する。 ③感染症やケガを含む介護事故の事例を個別的に分析し、予防能力に努める。
保護者・家族への支援	<ol style="list-style-type: none"> ①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 ②入居者の方の近況報告を行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 ③施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。

<p>地域との連携 (地域貢献)</p>	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 ②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 ③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。 ④学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 ※地域への貢献として生活困窮者への生活支援を推進する。</p>
<p>経営管理</p>	<p>①入居率100%確保を目指している。 ②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら入居者確保に努める。</p>
<p>施設・整備</p>	<p>①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 ②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。</p>
<p>職員管理</p>	<p>職員研修の推進 ①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 ②職員の資格取得にチャレンジしていく。 ③職員会議等で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的な開催を行う。 ④施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。</p>
<p>資金計画</p>	<p>別紙予算書</p>

令和4年度 行事計画表

ケアハウス暖の里本館			ケアハウス暖の里新館		
月	事業内容	月	事業内容	月	事業内容
4	花見	10	花見	10	生け花 抹茶の会
5	選択メニュー	11	生け花 選択メニュー	11	紅葉狩り
6	ちまき作り あじさい公園	12	ちまき作り 生け花 賞鑑賞会	12	クリスマス会 餅つき
7	七夕まつり 納涼祭	1	七夕まつり・納涼祭 抹茶の会	1	元旦祝賀会 とんど 抹茶の会
8	結核検診	2	結核検診	2	節分 避難訓練 ミニ運動会
9	敬老会 防災訓練	3	敬老会 防災訓練 月見会	3	ひな祭り 抹茶の会 救急救命会
※職員会・誕生会 毎月実施 健康体操・口腔体操 暖喫茶(水曜日)		※職員会・希望外出・誕生会 (毎月) 健康体操・口腔体操 暖喫茶(金曜日)			
和み会		だんわ会			

寺岡医師隔週木曜日 移動図書館隔週木曜日 移動販売(毎週水曜日) 移動理美容車(ハッピー号)

～ワクワクこなん・学生実習等受入～ グランドゴルフ5月～11月 園芸教室5月～10月

～地域の運動会・納涼祭等諸行事へ参加～

令和4年度事業計画概要

施設名: 小規模多機能施設 さとに暖の里

事業所名: 小規模多機能施設 さとに暖の里

計画項目	具体的な内容
基本項目	<p>施設の理念</p> <p>暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家。</p>
	<p>施設の基本方針</p> <p>1 温和で笑顔あふれる施設の実現 2 その人らしい充実した生活の支援 3 地域との共生による福祉の実現 4 人間性豊かな、福祉人材の育成 5 活力ある経営の実行</p>
	<p>施設の目標</p> <p>令和3年度同様、外部への働きかけを行い安定的に運営できるように行う。 小規模多機能の強みの柔軟なサービスを活用しご利用者、ご家族への適切なサービスを行う。 職場の環境を整え、外部研修等の活用により職員個々のスキルアップを図る。 要介護状態にある方に対し、適正な小規模多機能型居宅介護を提供することにより要介護状態の維持・改善を目的とし、目標を設定して計画的にサービスを提供します。</p>
事業項目	<p>利用者へのサービス提供</p> <p>通い・訪問・泊まりサービスに加え、機能訓練、マッサージ、季節の行事、レクリエーションで楽しみながら生活を支えるサービス提供を目指す。ご利用者の様子、行事、食事のサービス提供をSNSを活用し日々、ご家族の方へも見ていただけるよう更新を行う。 多機能性を発揮した柔軟な支援の実践。利用者様の「暮らし」の中に楽しみが見いだせる支援をさまざまな角度から提供していきます。</p>
	<p>給食(食育)</p> <p>配食サービスにより食事支援の必要な方に支援を行う。</p>
	<p>衛生管理・環境</p> <p>看護師、介護士による外部研修参加を図り事業所内へフィードバックを行い感染症、食中毒への対策を行う。 外部業者によるゴキブリ駆除も継続して行い厨房内の清潔を保つ。</p>
	<p>安全対策・事故防止</p> <p>ケアカンファレンスで個別のリスクの把握を行うとともに事業所内での事例をリスクマネジメント委員会を設置し検討を行う。</p>
	<p>保護者・家族への支援</p> <p>急な通い、泊まり、訪問の利用に際して出来る限り応じ小規模多機能が持つサービスの強みを最大限生かしご家族のレスパイトケアに繋がる支援を行う。 利用以外の介護相談等も受け付け介護に対する不安や悩みの相談を受ける。</p>
	<p>地域との連携(地域貢献)</p> <p>地域の防災訓練、防災講習、小地域座談会、公民館文化祭へ出席参加し地域交流を図る。地域へ座談会で事業所の開放を行い認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る。</p>
	<p>経営管理</p> <p>登録利用者数25名を一つの目安とし収入の確保を図る。地域包括支援センターとの連携を中心に病院、居宅介護支援事業所との連携を図る。</p>

経営項目	施設・整備	上下水道のコストが上がってきていることと浴槽の老朽化もあり浴槽の見直しを検討する。 公用車は軽自動車2台リース、普通車は法人が所有し送迎等に使用している。現状、故障などトラブルは見られない。施設内の不具合箇所玄関用留め具が破損(鍵はかかる)職員通用口戸の金具不良、車椅子用トイレ便座故障修理を検討。施設内車椅子ブレーキ箇所修理検討。ダイルーム内DVD機器故障(DVD再生時画像異常)購入検討。居室内エアコンリモコンディスプレイ表示 故障、購入検討。炊飯ジャー 故障の為に一時的に職員の私物を使用、購入を検討。
	職員管理	
	資金計画	

<理念>

暖もりのある笑顔と

思いやりの心があふれる

和やかなわが家

基本方針

1. 温和で笑顔あふれる施設の実現
2. その人らしい生活の支援
3. 地域との共生により地域福祉の実践
4. 人間性豊かで、有能な人材の育成
5. 活力ある経営の実行

1 【事業目的】

介護保険法の理念に基づくと共に、地域の高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、「通い」「訪問」「泊まり」の3種類のサービスが受けられる小規模多機能型居宅介護を拠点とし支援することを目的とする。

2 【運営方針】

(1) 介護体制の整備

訪問機能、通所機能、宿泊機能をご利用者様やご家族のニーズに沿って必要な時に必要なサービスを提供します。

(2) 在宅介護者（ご家族等）への協力体制

家庭内において介護される方への支援を強化するため、通所サービスや宿泊サービスを組み合わせ、サービス提供をします。

(3) ご利用者様の快適な生活の実現

通所や泊まりをご利用いただきながら、各種行事に参加していただき、楽しみや快適さを享受していただきます。

(4) 医療機関と連携し心身の健康維持管理

バイタル測定等を通して、健康異常の早期発見・早期治療に努めます。医師、歯科医師との連携により各種感染症予防や嚥下障害予防等に取り組みます。

(5) 緊急時対応体制の確保

特に、介護者（ご家族等）が緊急的に、急病や外出等により介護出来ない場合に、宿泊や通いを利用していただき支援を行います。

3 【生活の流れ】

(1) 日課

日中活動は利用者様の希望に合わせてながら介護予防に着目したサービスを提供して行きます。認知症予防、運動を中心に生活の中で生きがいを見つけ状態の維持、向上を目指します。起床時間や就寝時間は利用者様ご本人の生活リズムに合わせて行います。ただし、昼夜逆転等に繋がらないよう自然な形で、生活のリズムが作られるように支援していきます。

<p>【通い】</p> <p>09:00～ 送迎</p> <p>10:00～12:00 健康チェック、お茶、体操、入浴、趣味活動、団樂 機能訓練</p> <p>12:00～ 昼食、服薬、後片付け、口腔ケア、休憩</p> <p>13:00～ 外出、趣味活動、レクリエーション、機能訓練</p> <p>15:30～ 送迎</p>	<p>【訪問】</p> <p>9:00</p> <p>訪問介護・連絡など (対応時間・内容は利用者様により違います。)</p> <p>18:00 【訪問(夜間)】</p>
<p>【宿泊】</p> <p>18:00～ 夕食、服薬、後片付け、口腔ケア、団樂</p> <p>20:00～ 就寝準備、服薬、就寝</p> <p>6:00～ 起床、着替え、洗面、朝食準備</p> <p>7:00～ 朝食、服薬、片付け、口腔ケア</p>	

4 【令和4年度 行事計画】

4月	・誕生会・花見ドライブ
5月	・誕生会 ・ドライブ・こどもの日
6月	・ドライブ・行事食
7月	・誕生会・七夕祭り
8月	・納涼祭
9月	・誕生会・敬老会
10月	・誕生会・紅葉狩り・松保展示会
11月	・誕生会・行事食
12月	・誕生会・クリスマス会・忘年会
1月	・誕生会・新年会
2月	・誕生会・節分
3月	・誕生会・ひな祭り

※その他外部ボランティアの活動はコロナ禍の終息状況を見て、落語や音楽演奏会を開催予定。 コロナの感染状況を見ながら行事の変更あり。

5 【研修計画・各種委員会】

	外部	内部研修	委員会	参加対象者	運営 推進 会議
4月		コーチング研修	感染症対策研修		
5月		コーチング研修			○
6月	接遇・応対力向上	コーチング研修	高齢者虐待・身 体拘束	全職員	
7月	キャリアパス対応生涯 研修（初任者） 褥瘡・看取り	コーチング研修	感染症対策研修	全職員	○
8月	職員キャリアパス対応 生涯研修（中堅職員） ・コミュニケーション は介護のもと	コーチング研修	事故、ひやりは っと委員会 苦情解決検討会	全職員	
9月	起居・移乗・ポジショ ニング 職員キャリア パス対応（チームリー ダーコース）	コーチング研修	衛生管理研修		○
10月	・排泄・新人研修	コーチング研修	感染症対策研修	全職員	
11月	キャリアパス対応生涯 研修（管理職員）	コーチング研修	高齢者虐待・身 体拘束	管理職員	○
12月	学習推進者スキルアッ プ福祉研修	コーチング研修	感染症対策研修 高齢者虐待・身 体拘束	管理者 全職員	
1月		コーチング研修			○
2月	高齢者と楽しむレクリ ーション	コーチング研修	衛生管理研修	全職員	
3月		コーチング研修	高齢者虐待・身 体拘束	全職員	○

6 [運営推進会議]

概ね 2 ヶ月に1回、事業実績の報告及び活動内容を行い、小規模多機能に対しての意見を求め、事業の向上に努めていきます。

※令和3年度「地域密着型サービス運営推進会議」

○実施回数・・・5回（5月、9月、11月、1月、3月）

（メンバー構成）

- ①ご利用者
- ②区長（東里仁、世紀団地）
- ③民生委員
- ④さとに田園クリニック
- ⑤よつば薬局
- ⑥鳥取市高齢社会課
- ⑦こやま地域包括支援センター

7 [安定経営に向けて]

参加 活動 広報 の3つのキーワードの実施により小規模多機能として、さとに暖の里として事業所運営を図ります。

1 参加

- ・地域へ参加することで地域に馴染みのある事業所へと変わる。
公民館行事、保育園の運動会、発表会、地域の消防訓練への参加、民生委員の定例会への参加、地区の寄り合いへの参加。

2 活動

- ・認知症キャラバンメイト受講者による地域に向けての認知症に対する理解の促進を行います。
- ・運営推進会議や地域総会へ出席し地域ニーズや交流を図ります。

3 広報

- ・広報誌の活用を図りご家族や近隣事業所だけでなく地区等での回覧をお願いします。
- ・SNS を活用し事業所の日々の出来事をリアルタイムで発信する。

図1

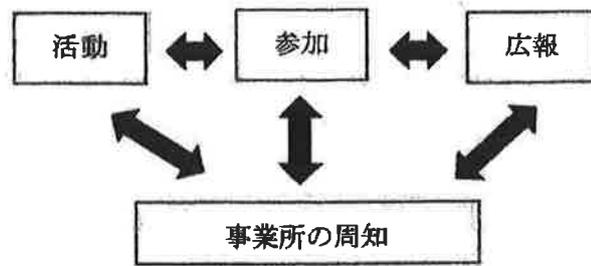


図1のように活動、参加、広報が相互作用し地域の方に知っていただけるよう活動します。

8[令和3年度実施の運営推進会議評価結果]

※別紙参照

9 [事務分掌]

※別紙参照

令和4年度 デイサービスセンター暖の里事業計画

1. 事業の目的 運営方針

* 社会福祉法人 デイサービスセンター暖の里運営規定に基づき適正な通所介護を提供することに努めるものとします。

2. 今年度の重要目標

* コロナ感染予防に配慮したうえで活動を充実、居宅介護支援事業所やご家族様、地域との連携を図り新規利用の獲得、利用率の安定を目指します。

3. 情報公表

* 介護サービスを自己評価し、情報の公表を実施。事業所独自のアンケートを利用者様・家族様に実施しサービスの向上を図ります。

4. 苦情解決

* 利用者様からの苦情を解決処理するために講ずる措置の概要及びマニュアルに基づき、苦情に対し適切な解決に努めます。

5. 諸会議

* 月1回の利用者様のサービスの状況報告、法人からの伝達事項、翌月の行事予定サービス内容の検討、利用者様からの要望、職員からの要望等の検討、現場での困難事例の検討、各研修の実施等に関する会議を開催します。

* 運営推進会議を円滑に年2回（状況に応じて方法も模索し）開催する。頂いた意見要望等を参考にサービスの向上に努めていきます。

6. 年間行事

4月	・・花見（桜）	10月	・・ミニ運動会
5月	・・(藤の花見)ドライブ	11月	・・紅葉ドライブ
6月	・・ちまき作り	12月	・・クリスマス会
7月	・・七夕祭り	1月	・・正月ゲーム大会
8月	・・デイお楽しみバイキング	2月	・・豆まき
9月	・・お月見会	3月	・・ひな祭り

7. 研修計画

*施設内研修

4月	・感染防止研修	10月	・嚥下障害
5月	・移乗動作	11月	・身体拘束
6月	・食中毒研修	12月	・緊急連絡・救命救急
7月	・脱水	1月	・入浴
8月	・ヒヤリハットの検証	2月	・レクレーションの進め方
9月	・苦情解決	3月	・認知症ケア

*施設外研修

行政等主催の研修への参加、施設内・施設外問わず研修の機会を作り、年間を通して研修に参加します。個々の技術向上に努めます。

令和4年度 ホームヘルプステーション暖の里事業計画

(1) 事業の目的 運営の方針

その人らしさを大切にし、在宅での生活が長く続けていけるように、運営規定に基づき適正で満足していただける介護の提供に努めます。

(2) 今年度の重点目標

- ・利用者の方との日々の関わりを大切にし、出来る所は続けてもらいながら出来ない所を支援し、住み慣れた場所で継続して生活して頂けるように援助する。
- ・職員間の情報共有や意見交換を行い、より良いサービスの提供を目指す。
- ・関係機関との連携を図る。
- ・職員のスキルアップにより専門性の高いサービスの提供を行う。

(3) 利用者援助の展開過程

- ①利用の申し込み…利用者情報の把握をする（介護支援専門員より基本情報、アセスメント内容、ケアプラン原案などを入手し利用者像を把握する。）
- ②利用者宅訪問…利用者・家族の状況とニーズの把握、サービス内容や重要事項の説明、アセスメントの実施と個別援助計画の作成
- ③サービス担当者会議の参加…ケアプラン原案や変更性の検討、具体的な援助方法の提案や承認。

④個別援助計画の作成、利用者の同意、契約…個別援助計画の説明、
同意及び交付、重要事項説明書の説明および同意と交付、利用契約書の
締結

⑤計画に基づくサービスの実施、情報収集・モニタリング、事情所内カンファ
レンス…サービス提供、初回サービス提供責任者の同行訪問、サービス提供
の記録、家族・他事業所連絡、支援ノートの活用。

⑥介護支援専門員へ報告…報告書（毎月）、評価

（４）援助の実施

各利用者の個別援助計画に基づき必要なサービスを行っていく。サービス
提供にあたりサービス提供責任者が、利用者に関する情報やサービス提供
にあたっての留意事項を文書により伝達してから開始する。サービス提供
後、各担当の訪問介護員から報告を受ける。以降職員間で情報共有しより良
いサービス提供を行っていく。

（５）情報公表 自己評価

介護サービス情報公表制度にて自己評価を実施する。事業所独自にも、利用
者、家族にアンケートを実施し、サービスの向上を図っていく。

（６）苦情解決

利用者からの苦情を処理するためのマニュアル等に基づき、苦情に

対し適切な解決に努める。管理者は苦情解決委員会に出席する。

(7) 諸会議

毎月1回利用者に関する情報やサービス提供に関しての留意事項、法人からの伝達事項、介護職員への技術指導等に関しての会議を開催する。

(8) 職員体制

- ・管理者（1名）＜サービス提供責任者と兼務＞…事業所の従業員の管理及び業務の管理。
- ・サービス提供責任者（2名）…事業所のサービスの利用申し込みに関わる調整、サービスに関わる利用者の意向の把握、サービス担当者会議への出席により居宅事業所との連携を図る、訪問介護員に対する利用者状況の伝達、訪問介護員の業務の実施状態の把握、訪問介護員に対する研修、技術指導、訪問介護計画書の作成、変更、説明等。
- ・訪問介護員（常勤）4名、（非常勤）6名…指定訪問介護、指定訪問予防介護の提供。

(9) 職員勤務時間

早出：6：30～15：30 8：00～17：00

平常：8：30～17：30 *令和4年3月現在

<利用者のニーズに応じて随時変更有>

(10) 研修

①訪問介護員全員に1年間の内容、研修期間等を定めた研修計画を作成し、
計画に基づいて実施する(所内研修)。

研修の具体的計画、実施等はサービス提供責任者が行う。

②訪問介護員に対する個別研修の実施(外部研修、行政等主催の研修)

=令和4年度研修予定 ホームヘルプステーション暖の里=

4月：認知症及び認知症ケア

5月：個人情報とプライバシー保護

6月：接遇、コミュニケーション

7月：倫理、法令遵守

8月：事故及び再発防止について

9月：緊急時の対応

10月：感染症及び蔓延防止について

11月：ハラスメントについて

12月：身体拘束、虐待防止

1月：介護保険について

2月：清拭、おむつ交換（実技）

3月：排泄ケア

*全員参加出来ない時は、サービス提供責任者が欠席者に伝達を行う。

*外部研修に参加した方には伝達研修をしてもらう。

令和4年度事業計画概要

施設名:

事業所名: 居宅介護支援センター暖の里

計画項目		具体的な内容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針	1、温和で笑顔あふれる施設の実現 2、その人らしい充実した生活の支援 3、地域との共生による福祉の実現 4、人間性豊かな福祉人材の育成 5、活力ある経営の実行
	事業の目標	(1)利用者・家族との信頼関係の構築 (2)安定した事業所運営(利用者数の確保) 介護・予防(1/2) 月平均 70件 840件
事業項目	利用者へのサービス提供	①介護保険制度に基づき、要支援・要介護認定の利用者が適切な介護サービスを受けられるよう、一人ひとりの意向を尊重し介護サービス計画を作成し、介護サービスの実施をする ②利用者とサービス提供事業者との連絡・調整をする ③介護に関する問い合わせの相談窓口となり 適切な相談・助言を行う 相談受付表に記載する
	給食(食育)	
	衛生管理・環境	手洗い、うがい、マスク等 感染症対策をする(研修の実施を含む)
	安全対策・事故防止	公用車使用時は車の点検・安全運転を実施する
	保護者・家族への支援	家族の介護負担を軽減する 利用者の残存能力を活かし自立支援を推進する 利用者の状態変化で介護保険変更申請の必要があれば家族に状況報告をする 感染症予防
	地域との連携(地域貢献)	地域包括支援センターとの連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える 地域包括支援センター主催の研修に参加する 近隣の利用者の在宅支援をする
経営項目	経営管理	コスト・件数の意識を持ち活動する 地域包括支援センターと連携を図り利用者数確保に努める 制度を理解し安定した経営に努める 契約書・重要事項説明書を確認する 個人情報管理をする
	施設・整備	整理・整頓・清掃を行う 公用車の管理をする
	職員管理	年1回の職員検診を受ける(検査結果を受け医師の意見に従う) 自己の体調管理(身体・精神を整える)をする 新人研修プログラムに沿って人材育成する(各担当者) 研修の推進 業務マニュアルの策定と標準化(分掌事務分担)を進める
	資金計画	別紙予算書